

ベリーズ犯罪等発生状況（令和８年７月分）

〔殺傷事件・銃撃事件関連〕

７月３日〔銃撃事件〕 午後８時３０分頃、ベリーズ郡レディビル村ジャパン地区（当館注：この地域名と日本は関係なし）の商店において、男性（４４歳）が銃撃により死亡する事件が発生した。銃撃の通報を受けて駆けつけた警察が店内へ入ると、出血した意識不明の被害男性を発見した。男性はカール・ヒューズナー・メモリアル（KHM）病院へ救急搬送され治療を受けたが、その後、死亡が確認された。

７月５日〔発砲事件〕 午後９時頃、ベリーズ市ラクーン通りのネイバズ・ストア付近において、発砲事件が発生した。警察によると、匿名の通報を受けた警察が現場へ到着すると、不審車両を発見した。警察は、車内にいた人物らに声をかけ、車内検査と身体検査を実施したところ、実弾の入った９mm 拳銃２丁を発見した。周辺を捜査していた別の警察からは、押収した拳銃から発砲されたと思われる、空の薬莢も発見された。なお、その場で拘束された男性３名と女性２名の内、２人は現職の警察官だった。

７月１０日〔銃撃事件〕 午後９時頃、カヨ郡サンタ・エレナ町サン・レオポルド通りにおいて、建設作業員の男性（３３歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性は帰宅後、電話で知人から呼び出され外に出ていたところ、黒いＳＵＶ車両が被害男性に近づき突然銃撃した。警察が被害男性を発見した時には意識がなく、搬送先のサン・イグナシオ地域病院にて死亡が確認された。なお警察は、被害男性は麻薬関係の容疑者としてマークしていた人物であり、この事件を麻薬関連の銃撃事件として捜査を継続している。

７月１２日〔銃撃事件〕 午後１１時３０分頃、オレンジウオーク郡オレンジウオーク町において、男性（年齢不明）が負傷する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性が友人と自家用車で移動していたところ、オートバイに２人乗りした不審男性らに近づかれ、突然銃撃された。この銃撃で被害男性は負傷し、病院へ搬送されたが容体は安定している。なお、被害男性の友人にケガはなかった。警察は、この事件の重要参考人として男性２名を拘束している。

７月１３日〔銃撃事件〕 午前１時頃、ベリーズ市ベルチャイナ橋付近において、女性（５１歳）が重傷を負う銃撃事件が発生した。警察によると、被害女性は自身の夫とコロンビア人観光客と共に車両でベルチャイナ橋の上を移動していたところ、突然、３人の不審男性が現れ、車に向けて突然銃撃してきた。この銃撃で被害女性は複数箇所銃創を負い、KHM病院へ救急搬送された。なお、被害女性の夫とコロンビア人観光客は無事だった。警察は、

被害女性と夫が過去に発生したギャング抗争の生き残りで、今回の銃撃事件をギャング関連事件とみて捜査を進めている。

7月13日【**斬殺事件**】 午前9時30分頃、オレンジウオーク郡サン・ラザロ村近郊において、男性（68歳）が刃物で斬殺される事件が発生した。警察によると、被害男性は自身の農場へ出かけたところ、不審人物にマチェーテ（山刀）のようなもので斬り殺され、近隣住民により発見された。通報を受け駆けつけた警察により捜査が進められたが、被害男性には犯罪歴もなく、事件の動機や容疑者は特定されていない。

7月13日【**銃撃事件**】 午後6時頃、カヨ郡サンタ・エレナ町ホークスワース橋（鋼製つり橋）において、親子2名が乗る車両への銃撃事件が発生した。警察によると、母親（41歳）とその息子（11歳）がピックアップトラック（キャビンと独立した荷台のある車両）で移動していたところ、オートバイに2人乗りした不審男性らに近づかれ、突然銃撃された。この銃撃では21発もの発砲があったが、襲撃に遭った親子は奇跡的に無傷だった。

7月16日【**銃撃事件**】 午後1時頃、首都ベルモパン市マヤ・モパン地区において、男性（24歳）が重傷を負う銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性は友人ら3名と自宅前で交流していたところ、拳銃を持った2人の不審男性が被害男性らに近づき、突然銃撃した。この銃撃で被害男性は上半身に銃創を負ったが、友人らは無傷だった。その後、被害男性は西部地域病院へ救急搬送され、治療を受けている。

7月25日【**銃撃事件**】 午後8時30分頃、カヨ郡ユナイテッドビル村において、ベリーズ市在住の男性（25歳）が死亡する銃撃事件が発生した。警察によると、被害男性は双子の兄と共にユナイテッドビル村の友人宅前の路上で過ごしていたところ、近くの茂みから不審男性が突然現れ、兄弟らに向け銃撃した。この銃撃で被害男性は上半身と頭部に銃創を負い、男性の兄は臀部に銃創を負ったが命に別状はない。その後、騒ぎを聞きつけた近隣住民により西部地域病院へ搬送されたが、到着時に被害男性の死亡が宣告された。

7月26日【**銃撃事件**】 午前5時頃、ベリーズ市セメタリー道付近において、建設作業員の男性（19歳）が負傷する銃撃事件が発生した。警察によると、ジュヴェール・イン・77のイベント（夜中から早朝にかけて行われるストリートパーティー）に参加していた被害男性がセメタリー道を歩いて帰宅する途中、オートバイに2人乗りした不審男性に近づかれ、突然銃撃された。この銃撃で被害男性は銃創を負ったが、命に別状はない。この事件について、一般市民のSNS上ではギャングに関連した事件として発信されているが、警察は事件の動機や容疑者についての詳細は発表していない。

[強盗事件・窃盗事件関連]

7月3日【強盗事件】 午前9時30分頃、ベリーズ市において、同市に在住するホンジュラス人男性（52歳）が強盗被害に遭った。警察によると、被害男性が市内のとある交差点にいたところ、拳銃を持った4人の不審男性が現れ、所持品を渡すよう拳銃で脅した。命の危機を感じた被害男性は、持っていた400ベリーズドル相当のスマートフォンと、現金240ベリーズドルを渡した。被害総額は640ベリーズドル（約4万8千円）だった。なお、4人の容疑者のうち1人は拘束され、後日、正式に起訴される。

7月6日【窃盗事件】 午前0時15分頃、オレンジウォーク郡ギニア・グラス村において、調理スタッフの女性（31歳）の自転車が盗まれる事件が発生した。警察によると、被害女性が仕事から帰宅した直後、庭の番犬が吠え始めたため、外を確認すると知人男性が自転車を持ち去っていくのを目撃した。翌日、自転車を持ち去った男性が女性宅を訪れ、自転車は盗んだのではなく借りただけと主張した。しかし、その後この男性とは連絡がとれなくなり、528ベリーズドル（約4万円）相当の自転車も持ち去られたままだ。女性は警察に被害を訴え、訴訟を求めている。

7月9日【窃盗事件】 午後4時頃、オレンジウォーク郡オレンジウォーク町のバスターミナルにおいて、露天商を営む男性（46歳）の300ベリーズドル（約2万円）相当の自転車が盗まれる事件が発生した。警察によると、被害男性が接客対応していたところ、ここ数週間で知り合った知人男性が自分（被害者）の自転車に乗って走り去るのを目撃した。被害男性は警察へ通報し、およそ2時間後に容疑者を確保した。

7月13日【窃盗事件】 午前10時頃、ベリーズ市在住のエアコン作業員が顧客の部屋から宝石類を盗んだ罪により、ベリーズ地裁へ出廷した。事件は7日に発生し、被告が依頼主（被害女性）の部屋でエアコンの設置作業をしていたところ、宝石箱の中に保管されていた金のバンブルや指輪、金のネックレスを盗んだ。被害総額は、約7,250ベリーズドル（約54万円）だった。地裁判事は被告に対し、2,000ベリーズドルの保釈金とその保証人1名を立てることを条件に保釈した。なお、被告は次回公判まで定期的に警察署へ出頭しなければならない。

7月17日【窃盗事件】 正午過ぎ頃、オレンジウォーク郡オレンジウォーク町において、建設現場から700ベリーズドル（約5万2千円）相当の工具が盗まれる事件が発生した。警察によると、建設現場の監督者は、昼食の買い出しから現場に戻ったところ、電動ドライバー一式がなくなっていることに気がつき、警察へ通報した。その後、現場に設置された防犯カメラ映像を確認したところ、その日は休暇中だった作業員が工具を盗む様子が映って

いた。警察はこの作業員を指名手配し、行方を追っている。

7月21日【脅迫及び窃盗未遂】 午前11時頃、ベリーズ郡ハッティビル村在住の建設作業員の男性（42歳）が雇用主脅迫及び窃盗未遂の罪により、ベリーズ地裁へ出廷した。事件は、7月19日に発生し、被告がその日の終業時に翌日分の賃金を前借りしたいと雇用主へ申し出た際に、雇用主はこれを断り、被告は前借りできないのであれば、工具を盗むと雇用主を脅し、複数の工具を持ち出そうとしたため雇用主は警察へ通報した。地裁判事は、被告へ罰金305ベリーズドル（約2万2千円）を科した。

7月25日【侵入窃盗事件】 午後8時頃、スタンクreek郡インディペンデンス村において、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、被害男性（50歳）が食材の買い出しに出かけたところ、孫（12歳）からの電話で、親戚の男性（25歳）が勝手に家に入り、バナナの箱（被害額不明）を盗んでいったとの連絡があった。なお被害男性は、親戚の男性にバナナの箱を持ち出す許可はしておらず、窃盗事件として警察へ通報した。その後、警察はバナナの箱を盗んだ男性を拘束した。

【違法薬物・違法銃器類関連】

7月3日【銃器類の違法所持】 午前9時頃、ベリーズ市ギル通りにおいて、男性（18歳）が無許可（許可証なし）で拳銃を所持していたところを逮捕された。警察によると、同通りをパトロールしていた警察が不審な行動をしていた男性を見かけたため、呼び止め所持品検査を行ったところ、ズボンのポケットから銃弾が装填された9mm口径の拳銃を発見した。この男性は無許可で銃器類を所持していた罪で、その場で逮捕、起訴された。

7月6日【違法薬物の所持】 午前9時頃、スタンクreek郡ミドルセックス村において、自動車販売業の男性（34歳）が密売目的の大麻258グラムを所持していた罪で逮捕、起訴され、翌7日にダングリガ地裁へ出廷した。警察によると、銃声があったと通報を受けた警察が現場へ駆けつけたところ、酒に酔った被告が拳銃を所持しながら知人と談笑しているのを発見した。警察による所持品検査の結果、大麻を所持していたためその場で逮捕、起訴した。地裁判事は被告に対し、罰金5,005ベリーズドル（約37万円）を科した。

7月7日【違法薬物の使用】 午後10時頃、ベリーズ市フリータウン道沿いにあるリー・チー・レストランにおいて、男性（37歳）が公共の場で大麻を使用した罪で逮捕、起訴され、翌8日にベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、フリータウン道をパトロールしていた警察がレストランの入口前で喫煙している被告から、大麻特有の臭いを感じたため、その

場で拘束し、公共の場で大麻を使用した罪により起訴した。地裁判事は被告に対し、罰金 1 5 5 ベリーズドル（約 1 万 1 千円）を科した。

7 月 7 日【銃器類の違法所持】 午後 5 時頃、ベリーズ市テイラーズ・アレー地区在住の男性（3 8 歳）が無許可で拳銃を所持していた罪で逮捕、起訴され、7 月 9 日にベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、同地区で行われた一斉摘発の作戦中に、被告の自宅から 9mm 口径の拳銃と実弾 1 3 発を発見した。被告は無罪を主張したが、地裁判事は事件の性質上、保釈を認めることができないとし、次回公判までベリーズ中央刑務所への収監を命じた。

7 月 8 日【違法薬物の所持】 午後 3 時頃、ベリーズ市ニューロード付近において、配達員の男性（6 0 歳）が 0. 4 グラムのクラックコカイン及び無許可で銃器類を所持していた罪で逮捕、起訴され、7 月 1 3 日にベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、パトロール中の警察が自転車に乗っていた男性に対して職務質問のため停止するよう合図したが、男性が逃走したため拘束し所持品検査を行ったところ、クラックコカインを発見した。地裁判事は被告に対し、罰金 4 5 5 ベリーズドル（約 3 万 4 千円）を科した。

7 月 8 日【違法薬物の所持】 午後 8 時 3 0 分頃、オレンジウォーク郡ギニア・グラス村在住の男性（5 8 歳）が 0. 7 グラムのクラックコカインを所持していた罪で逮捕された。警察によると、同村をパトロールしていた警察が挙動不審な男性を見かけ所持品検査をしたところ、ズボンのポケットからクラックコカインを発見した。この男性はその場で拘束され、後日正式に起訴された。

7 月 1 1 日【違法薬物の所持】 午前 1 1 時頃、ベリーズ市アレンビー通りにおいて、電気技師の男性（3 4 歳）が 1 グラムのクラックコカインを所持していた罪で逮捕、起訴され、7 月 1 4 日にベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、同通りをパトロール中の警察が挙動不審な男性を見かけ所持品検査をしたところ、男性の口の中からアルミホイルに包まれたクラックコカインを発見した。地裁判事は、被告が過去にも同様事件で有罪になっていたことを考慮し、罰金 1, 0 0 5 ベリーズドル（約 7 万 5 千円）を科した。

7 月 1 6 日【違法薬物の所持】 午後 5 時頃、カヨ郡ブレット・ツリー・フォールズ村において、男性（3 7 歳）が密売目的のクラックコカイン 9. 2 グラムを所持していた罪で逮捕された。警察によると、同村をパトロール中の警察が挙動不審な男性を見かけ所持品検査をしたところ、クラックコカインを発見し、男性をその場で拘束し、逮捕した。逮捕後、男性は正式に起訴され、サン・イグナシオ地裁へ連行された。

7 月 2 3 日【違法薬物の所持】 午後 1 時頃、トレド郡ベラ・ビスタ村において、少年（1

7歳)がクラックコカイン(重量非公開)を所持していた罪で逮捕された。警察によると、同村をパトロール中の警察が、日中にもかかわらずパーカーを着て歩いている少年が気になり、声をかけ所持品検査をしたところ、クラックコカインを発見した。警察はその場で少年を拘束し、警察署へ連行した。なお、未成年者は起訴されないため、少年の今後の処遇が決定するまで警察署に拘留される。

7月25日【違法薬物の所持】 午前8時30分頃、オレンジウオーク郡オレンジウオーク町において、グアテマラ人男性(57歳)が密売目的の大麻76グラム以上を所持していた罪で逮捕、起訴され、翌26日にオレンジウオーク地裁へ出廷した。警察によると、同町をパトロール中の警察が挙動不審な男性を見かけ所持品検査をしたところ、大麻を発見した。なお、被告は聾啞者のため、手話を通じて裁判が行われた。

【その他事件・事故関連】

7月8日【婦女暴行未遂】 午後7時30分頃、カヨ郡エスペランサ村において、女性が知人男性に銃で脅され、追いかけられる事件が発生した。警察によると、女性は知人男性に自宅まで車で送ってもらう途中、男性が発電機を届けるために友人宅へ寄りたいと申し出、女性はこれを承諾した。ところが男性は、人気のない場所まで行き突然銃を取り出し、女性にすぐそばの空き家へ入るように脅した。身の危険を感じた女性は、隙を見てその場から逃げ出し、近くの民家へ逃げ込み事なきを得た。女性は、警察へ被害届を提出し、訴訟を求めている。

7月9日【高額宿泊料の未払い】 ベリーズ市のゴールデン・ベイホテルにおいて、トリニダード・トバコ人の男性(46歳)が宿泊料1万1千ベリーズドル(約82万円)を未払いのまま出国しようとしたため、ベリーズ中央刑務所へ拘留された。この事案は、男性が今年の5月1日から29日まで同ホテルに宿泊し、その宿泊料金を踏み倒そうとしたことに起因している。ベリーズ地裁は男性に対して保釈は認めず、宿泊料の支払いあるいは調停により何かしらの解決がなされるまで、男性は拘留され続ける。

7月26日【飲酒運転】 午後7時頃、トレド郡ベラ・ビスタ村において、建設作業員の男性(29歳)が飲酒運転の罪により逮捕された。警察によると、同村に住む別の男性(30歳)が自転車のチャイルドシートに娘(5歳)を乗せて帰宅していた途中、酩酊状態の男性が運転する車に接触しそうになった。酩酊状態の男性は、その後もわざとこの親子に対して危険な運転を繰り返したため、父親の男性は近くの派出所へ駆け込み、助けを求めた。警察はすぐに出動し、酩酊状態の男性を拘束した。

